

1. ストレス胃による胃もたれ

ストレス胃には、胃もたれ(食後の胃部停滞感)、食欲不振、むかつき(嘔気)、乗り物酔いなどの症状を伴うことがあります。

これらの病態は、胃運動の低下や、食後に胃が適切に弛緩しない結果と考えられます。この病態は従来の慢性胃炎に相当し、内視鏡などで異常が認められない場合に**機能性ディスペプシア**と言われます。ディスペプシアは消化不良という意味です。

2. 胃もたれの患者を診る漢方医療の眼

ストレス胃の胃もたれに悩むイラストの人は、

- (1) ストレスに負けて気うつ傾向にある気滞(キタイ)と考えられます。
- (2) 胃もたれ、嘔気などの消化器の停滞症状は痰飲(タンイン)と判断します。
- (3) これらの症状の背景にある消化管の運動機能の低下や体力の低下(疲労倦怠感)は気虚(キキョ)です。

3. 胃もたれに用いられる主な漢方薬

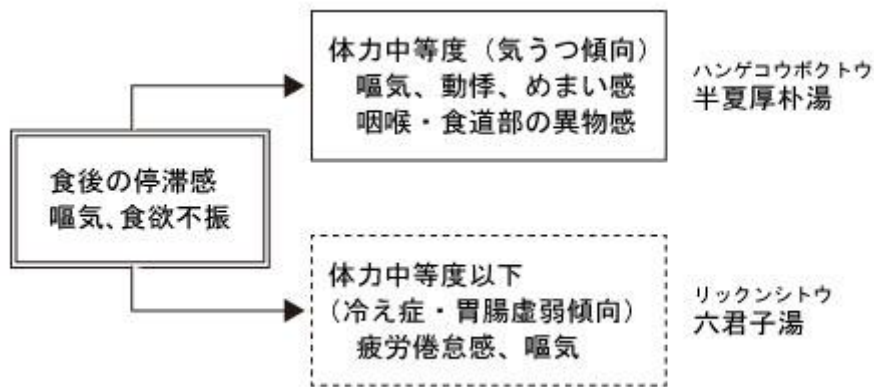
胃もたれ、むかつき、食欲不振に用いられるは主な生薬は、

- (1)と(2)を調整する半夏(ハンゲ)、生姜(ショウキョウ)、厚朴(コウボク)、陳皮(チンピ)
- (3)を調整する人參(ニンジン)や白朮(ビャクジュツ)です。

4. 胃もたれに用いられる半夏厚朴湯と六君子湯

胃もたれ、むかつき、食欲不振に用いられるは主な処方は、

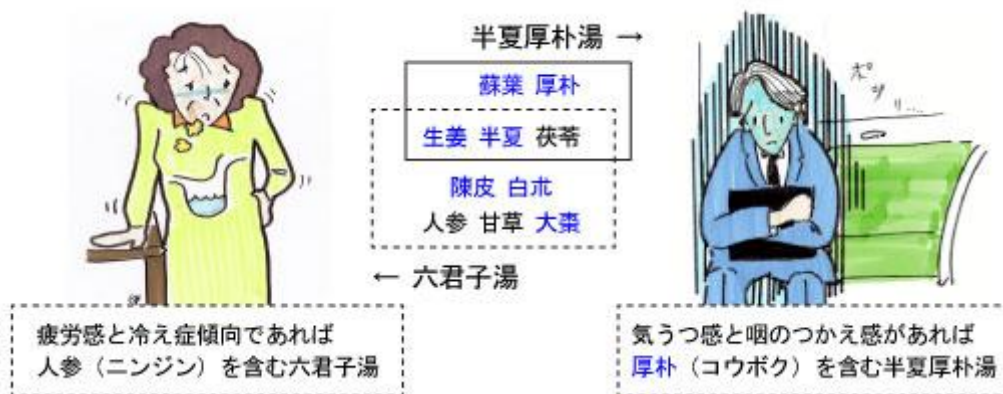
- (1)と(2)を調整する**半夏厚朴湯**(ハンゲコウボクトウ)、
- (2)と(3)を調整する**六君子湯**(リックンシトウ)です。



5. 胃もたれに用いられる処方配合生薬

漢方処方は、その配合生薬によって用途が相違します。半夏厚朴湯と六君子湯は共に化痰(ケタン)薬の半夏を含む処方ですが、

- 半夏厚朴湯には理気薬の厚朴と蘇葉(ソヨウ)が配合されているのが特徴です。
- 六君子湯には補気薬の人参と白朮(ビャクジュツ)が配合されているのが特徴です。



半夏厚朴湯は小柴胡湯や茯苓飲と組み合わせて用いられます。

六君子湯は四逆散と組み合わせて用いられます。